

第1学年〇組 国語科学習指導案

指導者 ○○○○

本校研究主題 「基礎的な知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力の育成」
～意欲的で豊かな表現活動を通して～

教科研究主題 「基礎的な力の定着を図り、豊かな表現力を身につけさせる指導のあり方を明らかにする。」

1 題材名 「ダイコンは大きな根？」 ～編集会議をしよう～

2 題材について

(1) 題材観

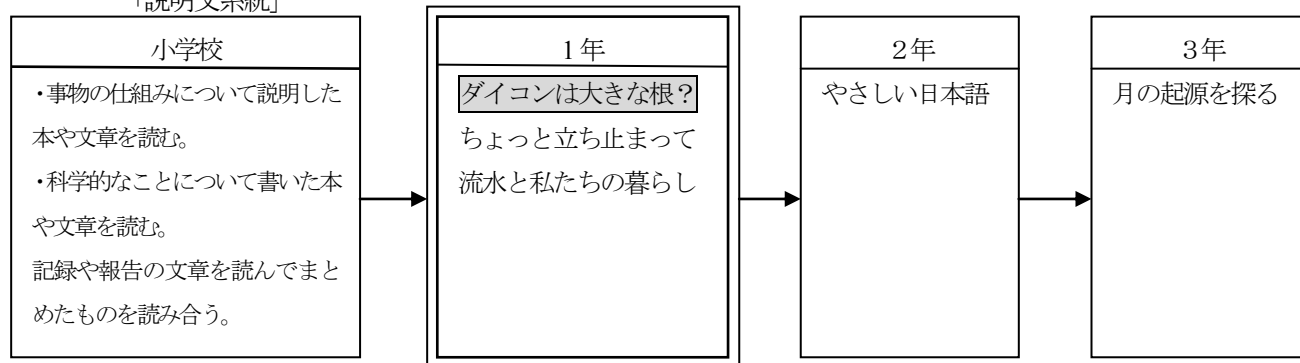
本題材は生徒が中学生になって初めて接する説明文である。説明文は物語文と比べて、より論理的な思考力・読解力を必要とする題材である。第一学年では小学校の指導で培った情報を読みとる力を深め、より高度な文章に対しても臆することなく、生徒が主体的に文章を読みとるための基礎の養成を目的とする。

論理的思考力・読解力を身につけるために、今回は①情報を正確に読み取る力を身につけることを最も基礎的な課題とした。また、今回の教材の延長に抽象的な「ちょっと立ち止まって」や、シベリアを題材にした「流氷とわたしたちの暮らし」とがあることから、あらゆる説明文に応用出来る読解力の育成を目指して、②文章の構成について考えること、③効果的な伝え方について考えることにも学習課題を広げていきたいと考える。

今回扱う「ダイコンは大きな根？」はダイコンの意外な側面についての説明文である。生徒にとって身近な野菜をテーマに具体的な説明で構成されており、また生徒に語りかけるような文体で書かれているため、多くの生徒は親しみを持って取り組むことができるだろう。教師の発問によって内容理解を深めた後、文章の構成についてグループで学び合いを行い、最後に効果的な文章構成（頭括型、双括型、尾括型）についてクラスで共有する授業を展開する。全体的な学びで読解を共有した後、グループでのディスカッションによって自主的な学びの場面をつくり、その後、クラス理解として再び共有する場を設定することで、個人の意見が全体の意見にどのように反映されるのか、またより説得力のある意見とはどのようなものかを学び合わせたい。そうした活動を通して、①情報を正確に読み取る力を身につける、②文章の構成について考える、③効果的な伝え方について考えるという三つの課題を、生徒にとってより実用的な課題として意識させることが、今回の授業のねらいである。

(2) 指導内容の系統性

「説明文系統」



(3) 生徒の実態 (男子○○名、女子○○名、計○○名)

実態調査 (調査人数○○名 調査実施日 平成24年〇月〇日)

1) レディネステスト(既習事項の確認)

① 本時の学習をするために

○普段、自分の意見や考えを発言することがありますか。

よくある どちらかというところある どちらかというところない 全くない

○自分の意見が相手に伝わらないことがありますか。

よくある どちらかというところある どちらかというところない 全くない

○文章を読んでいて、話の内容がわからなくなるときはありますか。

よくある どちらかというところある どちらかというところない 全くない

○テレビを見ていたり、人の話を聞いていたりするときに、話の内容がわからなくなるときはありますか。

よくある どちらかというところある どちらかというところない 全くない

○人と話していて相手が何を言っているのかわからないとき、質問したり聞き返したりしますか。

よくある どちらかというところある どちらかというところない 全くない

2) プレテスト

① 指導内容の理解度の把握

○説明文を読むことについてどう思いますか。

得意 どちらかというところ得意 どちらかというところ苦手 苦手

○説明文を書くとき、わかりやすく書く工夫をしたほうがよいと思いますか。

思う 思わない (理由)

考察

以上の結果より…

誰かに何かを伝えようとするとき、効果的な伝え方を工夫することのメリットに気づかせたい。いくつかの教材を比較検討し、またそれについてグループで意見交流を行うことで、同じ内容でもプロットによってわかりやすさが変化することを発見させたい。

3 題材の目標

- (1) 本文に関心を持ち、正確に読みとらせる。(関心・意欲・態度)
- (2) 本文について議論をさせる。(話す・聞く)
- (3) まとめられている事柄の主題を掴ませ、論理展開を整理させる。(読む)
- (4) まとめられている事柄を正確に読み取るために、メモを取ったりまとめなおしたりさせる。(書く)

4 指導計画 (3時間扱い 本時は2時間目)

| 時間 | 学習内容 | 支援及び指導上の留意点 | 評価基準 (観点) |
|-----------|--|--|--|
| 1 | 1, 予測読みを行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・発問を行いながら、予測読みを行う。この時教科書と構成の異なる文書をテキストとして使用する。 ・発問ごとにペアで学びあいを行い、内容理解を確認する場を設ける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に予想を発表している。(関心・意欲・態度) ・ペアに自分の考えをわかりやすく伝えることができる。また友だちの考えを要点を考えながら聞くことができる。(話す・聞く) |
| 本時 1/1 | 2, 構成についてのグループディスカッションを行い、効果的な伝え方について考えを深める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ班長を決めておき、編集の意図と意義をグループで確認しあう。 ・グループ内でまんべんなく発言できるように、班長の司会を補助する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークに協力しようとしている。(関心・意欲・態度) ・グループでの話題をまとめることができる。(書く) |

| | | | |
|---|-------------------------------|--|--|
| 1 | 3, 文章構成についての三つの基本的なパターンを理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・頭括型, 双括型, 尾括型を確認する。 ・前回の発表をもとに, どの型がどのようなときにもっとも効果的か考えさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・頭括型, 双括型, 尾括型を理解し, まとめることができる。(書く) ・自分の意見を効果的に発表することができる。(話す・聞く) |
|---|-------------------------------|--|--|

5 本時の指導

(1) 目標

- ①□グループメンバーと意見を交換したり, 教えあったりしながら研究活動ができる。(話す・聞く)
- ②□構成や順番を工夫し, 分かりやすくまとめることができる。(書く)

(2) 教科研究仮説との関連

| |
|--|
| <p>教科仮説</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 各単元や題材において, 学年に応じて表現活動を計画的に取り入れていけば, 充実した取り組みになるであろう。 ② 発表・レポートなど, 表現活動の効果的な指導法を工夫すれば, より意欲的な活動となり, 表現力が身につくであろう。 |
|--|

仮説①②に照らし, 効果的な文章構成について学びあうことで, 伝えあう力を身につけることができるだろう。

(3) 展開

| 過程目標 | 学習活動と内容 | 支援及び指導上の留意点 評価 (方法) | 資料教具 |
|-----------------------|--|---|-------------------------------|
| ○学習課題をつかむ。(5分 一斉) | <p>1 本単元の授業の流れと本時の学習問題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>効果的な構成とはどんなものだろうか。チームで協力して考えよう。</p> </div> | ○学習課題を確認することができたか。(観察) | |
| ○編集会議をする。(15分 グループ一斉) | <p>2 各グループで文章の特徴について話し合う。</p> <p>(1)ワークシートAに意見を書き合う。★</p> <p>3 各グループが編集チームとなって文章を再構成する。</p> <p>(1)ワークシートBを使って説明文を完成させる。★</p> | <p>○班長を指名し, カラーペンを配布する。記録も兼ねているので発言したら積極的に書くように指導する。班長はなるべく全員の意見を聞くようにする。</p> <p>○積極的に意見交流ができたか。(観察)</p> <p>○文章を批判的に読み, 効果的な構成に気付けるように, 話し合いが進んでいない班には中心となる段落を決めるようアドバイスをする。</p> <p>○積極的に意見交流ができたか。(観察)</p> | <p>ワークシートA</p> <p>ワークシートB</p> |

| | | | |
|--|--|---|--------------|
| <p>○グループの意見を効果的に発表することができる。 他のグループの発表の特徴を掴むことができる。(25分 グループ一斉)</p> | <p>4 グループでの発表 (1) 発表班 カードを使ってワークシートBを黒板に再現し、なぜその構成にしたのかを発表する。★ (2) 聞く班 聞いている班は感想シートに特徴や工夫をメモする。★ (3) 発表の流れ ① 発表 ② 工夫した点と理由 ③ 質問タイム</p> | <p>○はじめとおわりの礼や自己紹介の確認。 ○資料を説明しながら発表できるように、指示棒を用意する。 ○聞き手は聞く姿勢やメモの取り方、質問の仕方にも意識するように指示する。 ○質疑応答は必ず挙手してから発言するようにルールを共有する。 ◎発表のルールを理解しているか。(観察) ◎効果的に発表できたか。(感想シート)</p> | <p>感想シート</p> |
| <p>○自己の学習を振り返り、評価カードを記入することができる。(5分 一斉)</p> | <p>5 評価カードを記入する。</p> | | <p>評価カード</p> |